

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和6年7月9日(2024.7.9)

【公開番号】特開2023-168487(P2023-168487A)  
 【公開日】令和5年11月24日(2023.11.24)  
 【年通号数】公開公報(特許)2023-221  
 【出願番号】特願2023-172000(P2023-172000)  
 【国際特許分類】

C 0 9 J 1 6 7 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

C 0 9 J 7 / 3 8 ( 2 0 1 8 . 0 1 )

【 F I 】

C 0 9 J 1 6 7 / 0 2

C 0 9 J 7 / 3 8

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月1日(2024.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリエステル系粘着剤組成物 [ I ] が硬化されたポリエステル系粘着剤層を有する粘着シートを備える部材であって、上記ポリエステル系粘着剤層が、下記要件 ( 1 ) ~ ( 3 ) を満足することを特徴とする部材。

( 1 ) ポリエステル系粘着剤組成物 [ I ] が、水添ポリブタジエン構造含有化合物由来の構造単位を有するポリエステル系樹脂 ( A ) を含有し、上記水添ポリブタジエン構造含有化合物由来の構造単位の含有量が、ポリエステル系樹脂 ( A ) に対して 0 . 0 1 ~ 8 0 重量 % であること。

30

( 2 ) ポリエステル系粘着剤層の 1 5 0 における貯蔵弾性率 ( X ) が  $3 \times 1 0^3 \sim 6 5 \times 1 0^3 \text{ Pa}$  であること。

( 3 ) ポリエステル系粘着剤層の 1 5 0 における貯蔵弾性率 ( X ) に対する、ポリエステル系粘着剤層の 2 3 における貯蔵弾性率 ( Y ) の比  $\{ ( Y ) / ( X ) \}$  が 1 . 2 ~ 3 0 であること。

【請求項2】

上記ポリエステル系樹脂 ( A ) が、多価カルボン酸類 ( a 1 ) 由来の構造単位およびポリオール ( a 2 ) 由来の構造単位を有し、上記水添ポリブタジエン構造含有化合物が、ポリオール ( a 2 ) 中の水添ポリブタジエンポリオール ( a 2 - 1 ) であり、上記水添ポリブタジエン構造含有化合物由来の構造単位が、ポリオール ( a 2 ) 由来の構造単位中に 0 . 0 0 1 ~ 6 0 モル % 含有することを特徴とする請求項 1 記載の部材。

40

【請求項3】

上記ポリエステル系樹脂 ( A ) のガラス転移温度が - 8 0 ~ 2 0 であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の部材。

【請求項4】

上記ポリエステル系粘着剤組成物 [ I ] が、加水分解抑制剤 ( B ) を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の部材。

【請求項5】

上記ポリエステル系粘着剤組成物 [ I ] が、ウレタン化触媒 ( C ) を含有することを特

50

徴とする請求項 1 ~ 4のいずれか一項に記載の部材。

【請求項 6】

上記ポリエステル系粘着剤組成物 [ I ] が、架橋剤 ( D ) を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 5のいずれか一項に記載の部材。

10

20

30

40

50